

質問です!

どうして教科横断的に「言葉の力」を高めることが必要なのですか?

新しい学習指導要領では、すべての教科等の学習の基盤である資質・能力として「言語能力」の重要性にふれています。教科横断的な学習の大切さもうたわれていますが、学級担任として、何をどうすればいいのかわからない先生方が多くいらっしゃいます。そこで今回は、国語をベースとした教科横断的な授業づくりをテーマに東京学芸大学の中村和弘先生と東京学芸大学附属小金井小学校の大塚健太郎先生に語り合っていました。



東京学芸大学 准教授
中村 和弘 (なかむら かずひろ)

愛知県生まれ。川崎市内の公立小学校教諭、東京学芸大学附属世田谷小学校教諭を経て、現職。専門は国語科教育学。中央教育審議会「国語ワーキンググループ」委員、「言語能力の向上に関する特別チーム」委員として学習指導要領の改訂に携わる。

すべての教科のために「言語活動」をベースとした授業改善を

中村 新しい学習指導要領の総

則の中で、言語能力を向上させるため「言語活動」の充実の重要性にふれていますが、これは「国語」だけを指したものではありません。「言葉で表す」ことは、理科でも社会でも算数でも、あらゆる教科で言語力を鍛える大本です。

大塚 国語の文章を理解することが、他の教科のものの考え方も活用することになるし、国語で学ぶことの考え方を広げることが他の教科につながることもあります。すべての教科で使うための「言語能力」ですからね。

中村 大塚先生は、今年も1年生の担任ですが、1年生にも「書くこと」を意識して指導されていますね。
大塚 領域で考えたとき、小学校の国語の授業の中で「書くこと」がまだまだ少ないように思います。書くことというところに作文を連想されますが、そうではなくて、思考、判断したことを表現するという意味での書くことです。今回の学習指導要領の改訂においても「思考力、判断力、表現力

等」の育成が非常に重要ですが、思考力や判断力は、表現することによって明確になると思います。ですから、1年生のうちから、私は思考や判断の様子がわかる書き方を意識させています。
中村 大塚先生もおっしゃる通り、確かに「書く力」にも課題があるし、今年の「全国学力・学習状況調査」の結果からは「読む力」にも課題を強く感じています。資質・能力としての「言語能力」の育成を考えると、まず「読む力」・「書く力」といった土台の部分を、言語活動を通してしっかりさせていかなければ、と考えています。

教科をつないで「言葉の力」を高める

中村 大塚先生は、前号でも教科をつないださまざまな実践を紹介してくださいました。あらためて、どんな工夫ができるのでしょうか。
大塚 「書くこと」で言えば、新聞形式にまとめることで学習のネットワーキ化を図ることができます。

たとえば、国語で学んだ「説明

書をつくらう」の学習内容を「図画工作」でつくった作品を新聞形式にまとめる、あるいは「総合的な学習の時間」にテーマ別活動で学んだことを新聞形式にまとめ、全体で共有化するといった具合です。

私は今年1年生の担任ですが、国語「すずめのくらし」で学んだ説明文の書き方を生かして、新聞づくりやパンフレットづくりにつなげました。

カリキュラム・マネジメントが広まるにつれて、「総合的な学習の時間」や「道徳」といった教科・領域をベースに年間指導計画を捉える実践も増えていますが、どの教科・領域をベースにしても、必ず国語で学んだ力があるのをいいます。文章を読み理解するにも、友達に思いを伝えるにも、



東京学芸大学附属小金井小学校 教諭
大塚 健太郎
(おおつか けんたろう)

兵庫県生まれ。横浜市内の公立小学校教諭、東京学芸大学附属小金井小学校、世田谷小学校教諭を経て、現職。国語授業づくり研究会代表。

考えたことを表すにも、国語で獲得した知識・技能を、その教科・領域の実際の場で思考し、判断し、表現する国語の力、言葉の力が必要です。教科横断的な授業づくりは、国語をベースにすると、無理なく実践できると感じています。

**授業改革・改善は
焦らず、ゆっくり、
着実に！**

中村 今回の学習指導要領の改訂では、カリキュラム・マネジメントを通して授業改善について言及しています。移行期間に一気に新しいカリキュラムをつくりあげるのではなく、**実践しながら改善を図り、よりよい授業づくりを進めていければよい**と思います。

前回「カリキュラム・マネジメントの実践のために」で対談したときは「題材のつながり」を生かすことがテーマでした。確か、その対談の後で「国語をベースとしたカリキュラム・マネジメントの本をつくりたいですね」という話が出たように記憶しています。

大塚 対談を終えた後で「カリ

キュラム・マネジメントを難しく考えている先生方が多いけれど、国語を中心に置くといい。具体的な実践を紹介したいですね」という話になりました。

中村 こうしてできたのが次の本です。授業改善のチャンスにこの本がお役に立てば幸いです。

好評発売中！

学級担任だからこそ
無理なく実践できる
「国語発の教科横断的授業」



担任によるマネジメントに
こだわり、1年～6年まで、
小学校全学年の実践を紹介！

写真中心で
わかりやすい！

公立小の先生も
参加。

年間指導計画表の
つくり方も掲載！



B5判 128ページ(2色)
定価:本体2000円+税